

2021年5月10日 全5頁

新型コロナ拡大の影響を探る 消費データブック（2021/5/10号）

個社データ・業界統計・POS データで足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 山口 茜
経済調査部 兼 金融調査部 SDGs コンサルティング室 研究員 和田 恵

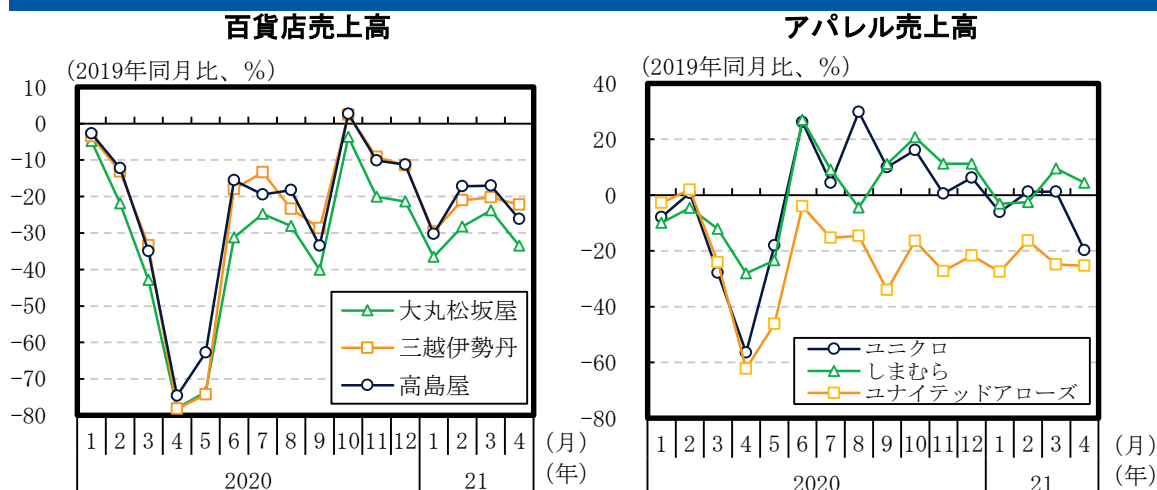
[要約]

- 4月の消費は減少に転じたとみられる。財消費は概ね横ばいで推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大の深刻化を受けて一部地域に緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発出・適用されたことでサービス消費が落ち込んだ。
- 【小売関連】4月の大手家電量販店の売上高は前月比+6%程度、ホームセンターは同+3%程度、スーパーは同+2%程度、新車販売台数は同+3%程度といずれも増加した。他方、4月の大手百貨店の売上高伸び率は感染拡大前の2019年同月比で2~3割減程度と、3月からマイナス幅が小幅に拡大した。大手アパレルの売上高伸び率は全商品の値下げを実施したユニクロを中心に3月から低下した。
- 【サービス関連】4月の新幹線輸送量は、2019年同期比5~7割減程度と3月からマイナス幅が小幅に拡大した。大型連休中（4月29日~5月5日）の航空機の輸送量は、国内線が同65%減程度、国際線が同95%減程度と3月と同程度であった。小売店・娯楽施設の人出は4月以降は減少傾向が続いており、それと連動する外食・旅行・娯楽関連消費の落ち込みが予想される。

<小売関連>

- ◆【百貨店】大手3社の4月の既存店売上高伸び率は、前年の新型コロナウイルス感染拡大の影響を除くため2019年同月比で見ると、2~3割減程度と3月（同2割減程度）からマイナス幅が小幅に拡大。4月下旬の緊急事態宣言発出に伴う休業要請等が影響。
- ◆【アパレル】4月のアパレル各社の既存店売上高伸び率（2019年同月比）は3月から低下。ユニクロは全商品を値下げしたことで客単価が下落し、既存店売上高は3ヶ月ぶりに2019年同月を下回った。

図表1：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

2021年1月以降の大丸松坂屋と三越伊勢丹は大和総研による試算値。

(注2) アパレル：既存店ベース。大和総研による試算値。

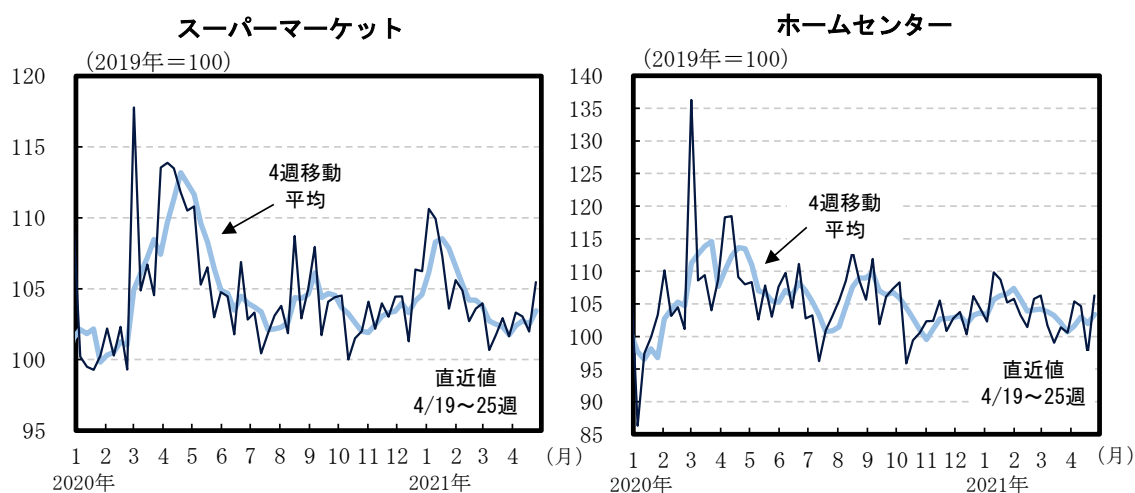
ユニクロとユニテッドアローズはネット通販を含む数値。

しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、10月以降はオンラインストア含む。

(出所) 各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパー】4月の売上高は前月比+2%程度。（大和総研による季節調整値）。
主力の食品は同+1%程度。
- ◆【ホームセンター】4月の売上高は前月比+3%程度（大和総研による季節調整値）。
雑貨、化粧品などの幅広い品目で売上が増加。

図表2：スーパーマーケット・ホームセンターの売上高

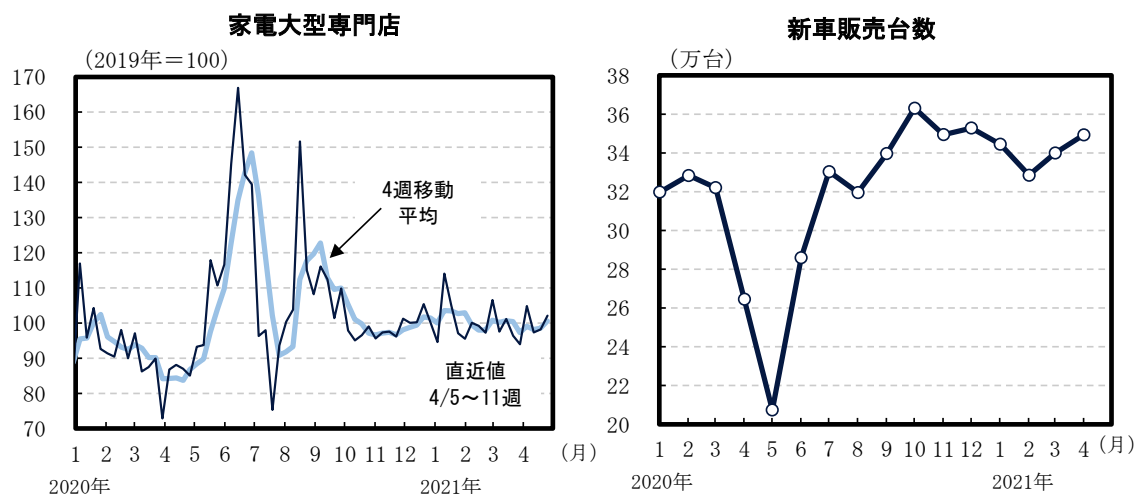


(注) METI POS小売販売額指標の週次データ。消費税を除くベース。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

- ◆【家電】4月の大手家電量販店の売上高は前月比+6%程度（大和総研による季節調整値）。冷蔵庫やエアコンの売上が増加。
- ◆【自動車】4月の新車販売台数は2月から9千台増加し、前月比+3%程度（大和総研による季節調整値）。

図表3：家電・自動車の売上高



(注1) 家電大型専門店：METI POS小売販売額指標の週次データ。消費税を除くベース。大和総研による季節調整値。

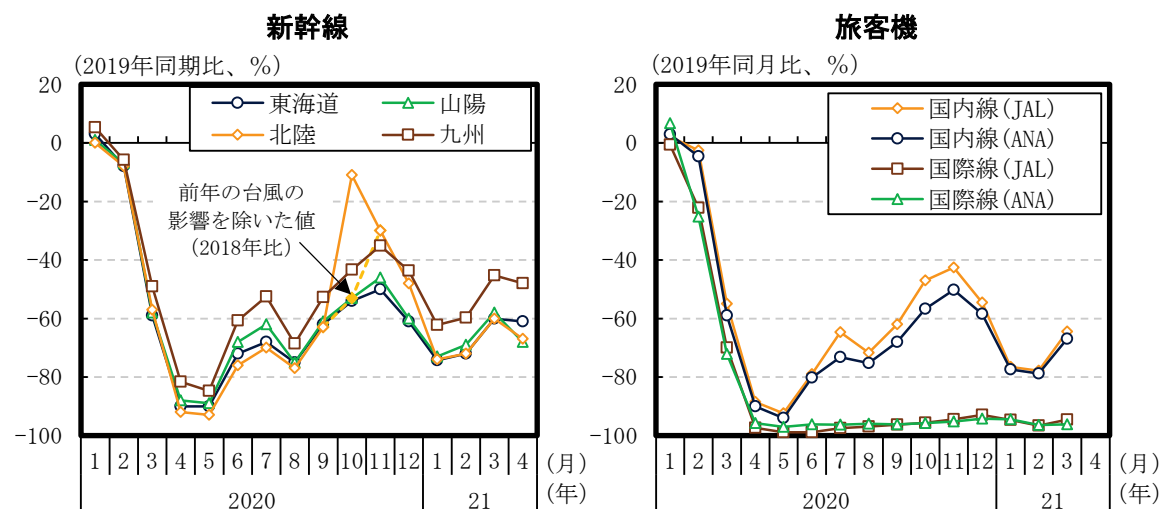
(注2) 新車販売台数：月次データ。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】4月の輸送量は、2019年同月比5~7割減程度と3月からマイナス幅が小幅に拡大。4月下旬の緊急事態宣言再発出が重石に。
- ◆【旅客機】3月の輸送量は、国内線は2019年同月比65%減程度と2月からマイナス幅は縮小。国際線は同95%減程度と変化なし。大型連休中（4月29日~5月5日）の輸送量は国内線が同65%減程度、国際線は同95%減程度。

図表4：新幹線・旅客機の利用状況



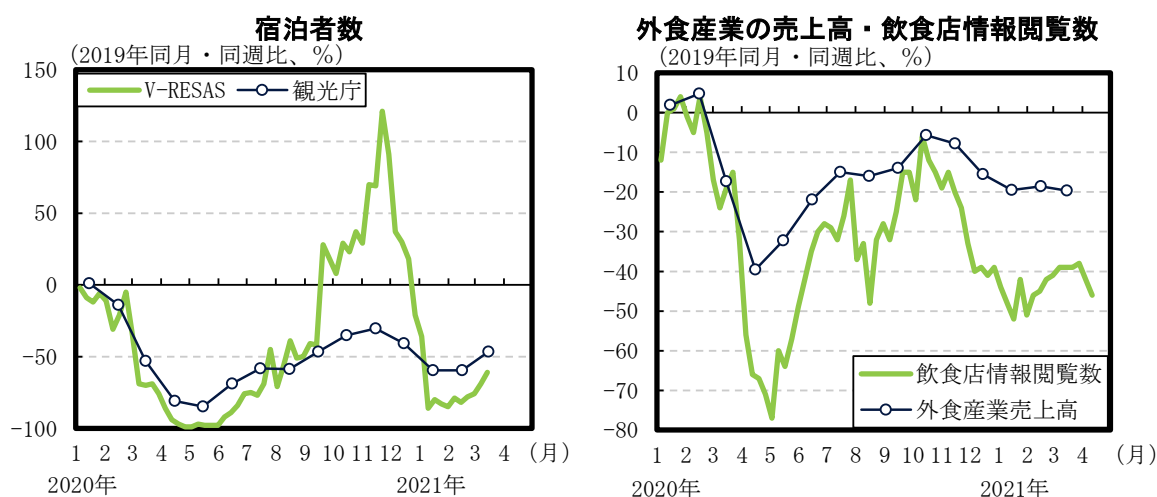
(注1) 新幹線の2021年4月は東海道と九州が26日まで、その他は月末まで。

(注2) JAL・ANAのデータはグループ会社を含む数値。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】3月の宿泊者数（宿泊日数ベース）は2019年同月比5割減程度と2月からマイナス幅が小幅に縮小。4月は一部地域を対象とするまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の影響でマイナス幅が小幅に拡大したと推測。
- ◆【外食】3月売上高伸び率は2019年同月比2割減程度と2月から横ばい。時短要請の継続が重石に。4月は一部地域にまん延防止等重点措置が適用され、下旬からは緊急事態宣言の対象区域で酒類の提供が全面禁止された。そのため4月の売上高伸び率はマイナス幅が拡大したと推測。

図表5：国内宿泊者数／外食産業の売上高・飲食店情報閲覧数



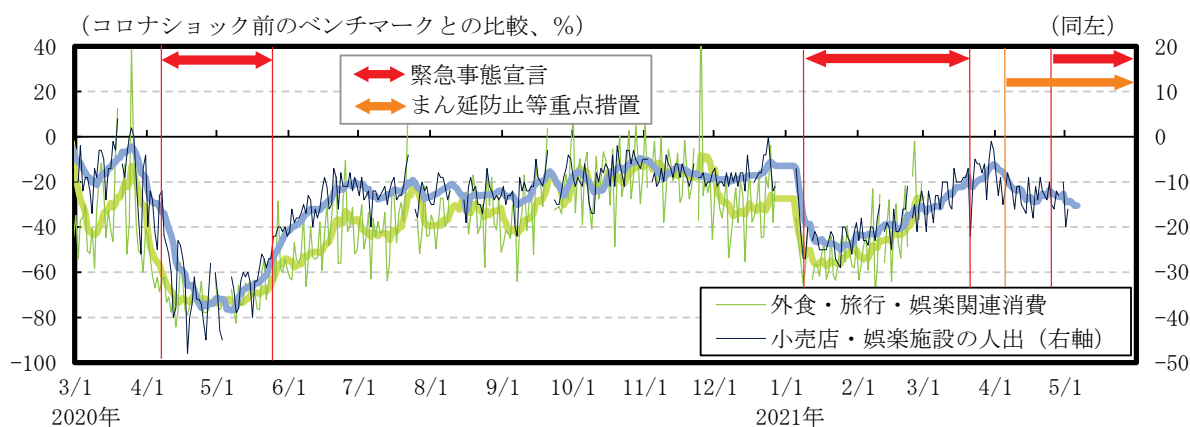
(注) V-RESASのデータは週次、それ以外は月次。

宿泊者数は、観光庁統計は宿泊日数ベース、V-RESASは宿泊開始日ベース。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、V-RESASより大和総研作成

<参考：人出・高速道路交通量>

図表 6-1：小売店・娯楽施設の人出（直近値 5/6）と外食・旅行・娯楽関連消費

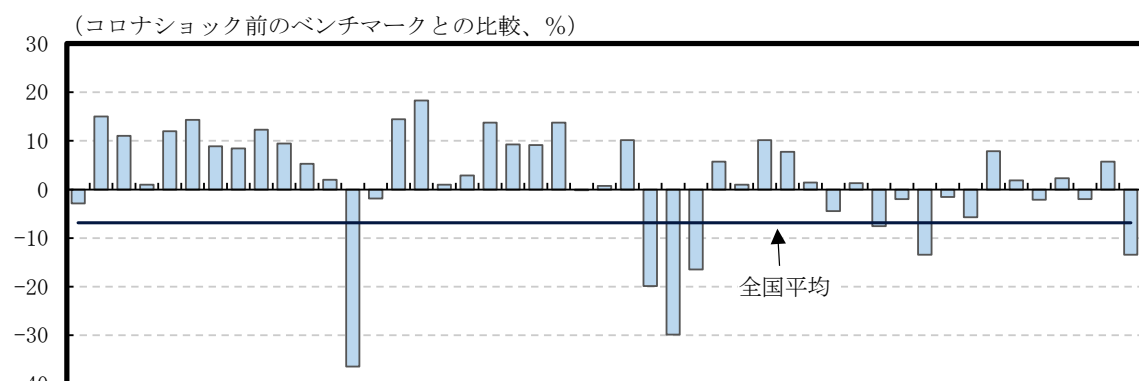


(注) ベンチマークは2020年1月3日から2月6日の曜日別中央値。太線は7日移動平均。外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

月～金曜日の祝日とお盆（2020/8/10～14）、年末年始（2020/12/28～2021/1/4）のデータは除いている。

(出所) 総務省統計、Google、CEICより大和総研作成

図表 6-2：小売店・娯楽施設の人出（4/26～5/2 平均、都道府県別）

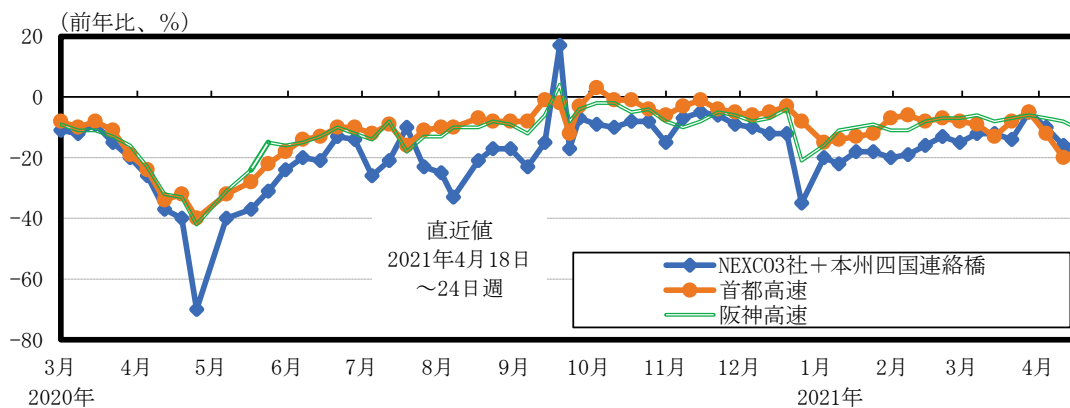


北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和島島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
海森手城田形島城木馬玉葉京奈湯山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄
道 川 山 島

(注) 2021年4月29日を除く。ベンチマークは2020年1月3日から2月6日の曜日別中央値。

(出所) Google、CEICより大和総研作成

図表 7：高速道路交通量



(注) 週次データ。高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。

(出所) 国土交通省より大和総研作成